

TS-2 センタリング調整について

調整に必要なもの

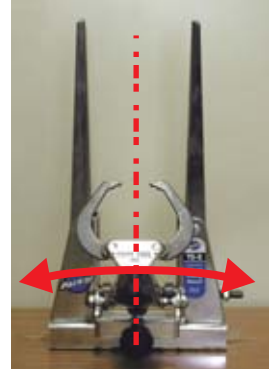
- ・ヘックスレンチ(3・4mm)
- ・#1554-1 センタリングゲージ
- ・ノギス
- ・プラスチックハンマー
- ・浸透性潤滑油(C-10)
- ・スパナ(19mm)

調整の前に

TS-2 振取台には次の2つのセンターが存在します。

アップライトアームのセンター キャリパーアームのセンター

これらがそれぞれ本体のセンターに調整されていないとオートセンタリング機能は正常に機能しません。またこれらは持ち運んだり、衝撃を与えられるとセンターがずれてしまうことがあります。



調整方法

A

アップライトアームのセンター調整

A-1

ブッシングを緩めます。
ブッシングには新旧2タイプが存在します。

※ネジ止めタイプではネジが軸を傷つけ、ネジを緩めてもブッシングが動かない可能性があります。
浸透性潤滑油などを塗布し、軸を回したりしながらブッシングが可動するようにしてください。
また可動させた後、ネジにより変形した軸表面のバリをヤスリなどで取り除く必要があります。

クランプタイプ(ベアリング有)



ネジ止めタイプ(ベアリング無)



A-2

アップライトアームに#1554-1センタリングゲージをセットします。
センタリングゲージがない場合は、センターの取れたホイールをセットします。



しっかりと両側がV溝にセットされているよう注意してください。



A-3

センタリングゲージの先端とベースとの間隔が両側均等になるようにプラスチックハンマーでアップライトアームに衝撃を与え調節します。

※V溝からセンタリングゲージが浮いてしまうことがあります。
測定の際は必ずしっかりとセンタリングゲージがセットされていることを確認してください。



A-4

両側の間隔が均等になりましたらブッシングを固定します。
クランプタイプはしっかりと両側にベアリングを押し付けるように固定します。
ネジ止めタイプはブッシングとベースの間に0.2mm以下のわずかな隙間を作るとアップライトアームの可動がスムーズになります。隙間が大きすぎるとアップライトアームのガタ付きの原因となりますのでご注意ください。

B

キャリパーアームのセンター調整 ※アップライトアームのセンター調整が終わったあとに行ってください。

B-1

センタリングゲージを設置し、キャリパー部の幅をセンタリングゲージが通るまで広げてください。



B-2

センタリングゲージの先端をキャリパー部の先端に合わせます。



B-3

左右のキャリパー部のどちらかがセンタリングゲージに接触するまでセンサー部を閉じます。



B-4

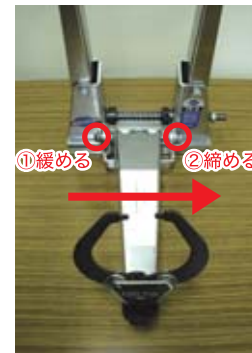
センタリングゲージに両側のセンサーが同時に接触するように固定ナットを動かし、キャリパーアームを移動させます。

※必ず移動させたい方向の反対側のナットを緩めてから移動させたい方向のナットを締めてください。

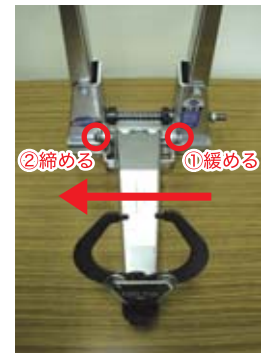
また左右の固定ナットは同じ量を回してください。

逆の動作を行ったり、固定ナットを締めすぎたりしますと、キャリパーアームはスムーズに可動せず、樹脂ブッシングを变形させたり、ベースを变形させてしまう恐れがあります。

右に移動させる場合



左に移動させる場合



2つのセンター調整が終わりましたら、TS-2のセンタリング調整は終了です。おつかれさまでした。

